

【資料・詳細】

期間後半の交通量は今年は土曜日を含めて5連休であったこともあり、交通量は増加しました。期間前半の交通量は曜日の並びの影響（今年は水曜日が祝日で間に平日が2日、昨年は火曜日が祝日で間に平日が1日）もあり昨年よりも減少しました。

一方でピーク日の交通量および期間全体の渋滞件数は昨年より減少しました。

- ① 北陸道と東海北陸道の期間後半6日間の日平均断面交通量は、昨年の約41,800台に対して約43,500台と約4%増加しました。期間前半6日間の日平均断面交通量は、昨年の約25,200台に対して約22,300台と約12%減少しました。（期間全体では昨年の約33,500台に対して約32,900台とほぼ横ばい。）

料金所出入台数（日平均）は、期間後半は昨年の約276,500台に対し、約275,400台と横ばい、期間前半は昨年の約208,200台に対し、約200,300台と約4%減少しました。（期間全体では昨年の約242,300台に対して約237,800台とほぼ横ばい。）

- ② 北陸道の交通量のピーク日は3日（日）で、上下合計で約57,600台でした。上り線のピーク日は5日（火）で約29,500台、下り線のピーク日は3日（日）で約29,000台でした。東海北陸道では上下合計のピーク日は3日（日）で約21,500台、上り線のピーク日は3日（日）で約9,300台、下り線のピーク日は5日（火）で約10,200台でした。

〔昨年の北陸道のピーク日は3日（土）で約59,600台、上り線が4日（日）で約29,500台、下り線は3日（土）で約30,900台、東海北陸道のピーク日は4日（日）で約22,300台、上り線が4日（日）で約11,400台、下り線も4日（日）で約10,900台でした。〕

- ③ 通行止はありませんでした。

〔昨年は5月4日（日）10:00～11:25（1時間25分）北陸道 上り線 朝日IC～黒部IC（事故）の1件でした。〕

- ④ 延長1km以上の渋滞発生は11件でした。（詳細は別紙参照）〔昨年は14件〕

- ⑤ 最大渋滞長については、北陸道では5月3日（日）上り線で交通集中により今庄トンネル付近を先頭に発生した約8km、東海北陸道では5月5日（火）上り線で交通集中により城端トンネル付近を先頭に発生した約5kmでした。

〔昨年の最大渋滞長は下記のとおり。〕

北陸道：5月3日（土）上り線 葉原トンネル付近先頭約7km（原因：事故及び交通集中）、

東海北陸道：5月4日（日）上り線 城端トンネル付近先頭約9km（原因：交通集中）〕

- ⑥ 2014年7月20日に開通した舞鶴若狭道（小浜IC～敦賀JCT）の日平均断面交通量は期間後半は約14,700台、期間前半は約6,100台でした。（期間全体では約10,400台。）若狭上中IC・若狭三方IC・若狭美浜ICの3料金所合計出入台数（日平均）は、期間後半は約5,100台、期間前半は約3,200台でした。（期間全体では約4,200台）

日平均断面交通量のピークは5日（火）で上下合計約18,900台、上り線（舞鶴方面）のピークは3日（日）で約9,300台、下り線（敦賀方面）のピークは5日（火）で約10,200台でした。

主な区間の日平均断面交通量（台／日） ※車両感知器による速報値 百台未満は四捨五入

道路名	区間	昨年	今年	昨年比
北陸道	木之本～敦賀JCT	34,600	34,300	99%
北陸道	鯖江～福井	40,800	40,700	100%
北陸道	美川～白山	43,400	41,800	96%
北陸道	小杉～富山西	40,300	39,100	97%
東海北陸道	白川郷～五箇山	11,400	11,100	97%
舞鶴若狭道	若狭三方～若狭美浜	-	10,900	-

主なインターチェンジの日平均出入利用台数（台／日）

道路名	IC	昨年	今年	昨年比
北陸道	敦賀	18,200	14,500	80%
北陸道	福井	10,200	10,500	103%
北陸道	金沢西	20,900	20,100	96%
北陸道	富山	19,400	19,100	98%
東海北陸道	五箇山	1,600	1,600	100%
舞鶴若狭道	若狭美浜	-	1,900	-